

令和7年第5回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和7年5月22日(木)
午後3時～午後4時

2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室

3. 出席した委員
教育長 新子 寿一
教育長職務代理 田中 保和
教育委員 西村 弥生子
教育委員 太田 貴之
教育委員 田辺 恵美

4. 出席した職員
教育部長 桐藤 英樹
教育監 安田 典子
教育総務課長 稲山 佳史
図書館長 石原 悟
社会教育課長 植田 圭祐
指導課長 小室 吉昭
事務局教育総務課 塩谷 行由

5. 議事案件
議案第11号 柏原市図書館協議会委員の任命について
議案第12号 柏原市社会教育委員の委嘱について
議案第13号 かしわらっ子はぐくみプランー柏原市学力向上計画ーの策定について
議案第14号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容について

6. 報告事項

7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：お揃いでございますので、令和7年第5回定例教育委員会会議を開会します。

本日の会議録署名委員は、西村委員にお願いいたします。次に、事前に送付させていただいております会議録につきまして、ご意見等ございませんか。

委員全員：なし。

新子教育長：それでは、会議録は承認することにいたします。本日の議事に入ってまいります。本日の議事案件は4件です。どうぞよろしくをお願いいたします。それでは、議案第11号につきまして、図書館石原館長より説明をお願いします。

石原館長：議案第11号柏原市図書館協議会委員の任命についてご説明いたします。柏原市図書館協議会委員について、図書館法第15条及び柏原市図書館協議会条例第3条の規定により、名簿にあります10名を任命するものです。委員の任期は令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間です。以上、ご審議いただきますようお願いいたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第11号について、原案どおり承認してよろ

しいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第11号柏原市図書館協議会委員の任命については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第12号につきまして、社会教育課植田課長より説明をお願いします。

植田課長：議案第12号柏原市社会教育委員の委嘱について説明させていただきます。柏原市社会教育委員を社会教育法第15条第2項の規定により1名委嘱するものです。こちらはPTA協議会の会長が交代されたことによるものです。委嘱期間につきましては令和7年4月1日から前任者の残任期間となる令和8年3月31日までとなります。以上、ご審議いただきますようお願いいたします。

新子教育長：ご意見、ご質問等よろしいでしょうか。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第12号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは、議案第12号柏原市社会教育委員の委嘱については、原案どおり承認することにいたします。続きまして、議案第13号につきまして、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第13号かしわらっ子はぐくみプランー柏原市学力向上計画ーの策定について、指導課よりご説明申し上げます。本プランは、令和4年4月に策定しました第2期柏原市教育振興基本計画の確かな学力の育成の中に位置付けており、令和4年から取

り組んでまいりました第3期のかしわらっ子はぐくみプランが令和6年度で終了することから、第4期となる新たな学力向上計画を策定いたしました。大きな変更点としましては、委員からもご意見がありましたとおり、これまで3カ年計画であったものを、変化する教育状況に応じて見直しができるよう単年度版として作成することとしました。

策定するにあたっては、これまで取り組んでまいりました6つの重点取組を軸に、包括的な学力向上の施策となるようとりまとめております。構成につきましては、目標・重点的な取組・学力向上を主旨とした組織体制・取組を支える市の施策で構成し、順序は入れ替えましたが、これまでと同じ構成になっています。さらに、今回は具体的な取組と内容として、6つの重点取組を柱に、これまで学力向上対策委員会で学識や校長先生からいただいた意見を踏まえた内容を入れ、具体性をもたせました。

表紙をご覧ください。かっこ書きで、単年度版として令和7年度版と記載しております。ページをめくり、目標ですが、これまでと変更はございません。続いて、背景及び現状・課題については、現状、国の動向、市の課題・現状を記しています。右ページには学力向上の方向性として図式化しております。こちらは年間10回行われる学力向上推進委員会で先生方にお示ししております。次ページ、学力向上を主旨とした組織体制、取組を支える市の施策については、上位法である第2期柏原市教育振興基本計画との整合性や、予算措置との継続性を考え、大きく変更はしておりません。ただ、(5)学校司書の配置については、令和5年度から、蔵書管理ソフトを導入していること、また、家庭や市立図書館との連携を進めていきたいという方針から、文言を追記しております。

ページをめくりまして、具体的な取組内容として、6つの重点目標を柱に、今年度取り組むべき内容を示しております。それぞれの項にサブタイトルを入れております。こちらが、本年度取り組む内容の柱になります。

以上が、本改定の趣旨になります。指導課としましては、令和5年度に学校教育基本目標を大きく改訂しました。意図としては、できるだけ現場で活用できるようにとの思いで行っております。はぐくみプランにつきましても、前例踏襲だけでなく、より現状に合ったものをとの考えから、これまでの計画、目標から大きく外れることなく単年度で計画を立てるようにしております。以上で説明を終わります。ご審議の程よろしくお願ひします。

新子教育長：ご意見、ご質問等よろしいでしょうか。

田中委員：学校司書と司書教諭については全校にいますか。

小室課長：全校に配置しております。

田中委員：分かりました。もう1点ですが、AIを使った学習というのはまだ盛り込むことは難しい現状ですか。

小室課長：そうですね。実情、小中では使い方の部分に課題がありますので盛り込んでおりません。

田中委員：AIの使用は有益な部分も多いとは思いますが、今後検討してみてください。

太田委員：具体的な取組内容が書いてあるのでよいと思います。スタディアフタースク

ールや中学校の英語教員、塾の講師の活用して英検を取得するといった取組みについて、だんだんと縮小されているイメージがありますが、現状について教えてください。

小室課長：まず塾については現状トライに委託し、9月から毎週1箇所に集まって勉強会を行っています。受講人数はそれほど多くありませんが、受講した生徒からはほぼ100%に近い満足度が出ています。費用対効果の部分は検証の必要があると認識しております。

田辺委員：うちの子どももこちらを受講しました。やっている間は意欲も高く、先生にすごく丁寧に教えてもらえたと喜んでいましたが、やはり期間限定なので、意欲を維持するためにも継続してもらえるとありがたいなと思います。取組みとしてはとてもよいと思いますので、保護者への浸透の面からもアンケート結果の公表方法は検討いただいてもよいのかなと思います。

小室課長：検討いたします。

太田委員：スタディアフタースクールについてはいかがですか。

小室課長：コロナ禍で一度継続性が切れてしまったという問題があります。学生が継承してくれてきた文化が一度切れてしまっており、大学でもボランティアで来てくれる学生を集めるのが大変な状況であるということのようです。私も大学へ行って説明会を行ったり、大学の先生にも働きかけを行っているといった実情です。来てくれている学生からは、SNSを利用して募集をかけてくれたり、他大学の友だちに声をかけていいかといった提案もあります。他大学については、事業自体が大学との連携協定を基にしているので現状では難しいですが、事業を継続していくためにも、ゆくゆくはそのような方法も必要なのかなと考えております。

太田委員：他市にない柏原市の特徴的な取組みですので、是非とも進めていってほしいと思います。また、最近、学校や家庭での学習で覚えるという作業はやっていますか。英語の学力が低いですが、基礎になる英語の単語をちゃんと覚えていますかね。ペアワークやグループワークが多い印象で、それ自体は楽しくやれていいのですが、単語を覚えるような従来の授業でやっていたこともうまく取り入れる必要があるのではないかと思います。文部科学省の方針もありますが、柏原市独自の確固たる方針というのが必要ではないか思います。

あと、他市や先進的な他府県への視察の機会は市教委が主体となって作ってあげてほしいなと思います。学校でやるとなるとかなりしんどいと思いますので。

小室課長：去年から学力向上推進委員会に対して他市も見に行くように指令を与えています。委員がおっしゃるとおり他市の手法を学ぶことはかなり有益だと考えておりますので、学んだことのフィードバックも含め取組みを進めてまいります。

西村委員：学校に来ていない子どもたちの取りこぼしをしてはいけないといった文言が1つあったらいいのではないかと思います。また、先ほどもありましたが、課題に追われて覚えることができないとか、課題やってたら試験勉強する時間がなかったということをよく聞くので、もう少し学力がつく仕組みというのがあるのではないかと考えます。プランも単年度ごとに見直しということですので、大きく変える必要があるところは変

えていってもらえたらと思います。

新子教育長：他にご意見、ご質問等よろしいでしょうか。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第13号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは、議案第13号かしわらっ子はぐくみプランー柏原市学力向上計画ーの策定については、原案どおり承認することにいたします。続きまして、議案第14号につきまして、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第14号令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容について指導課よりご説明申し上げます。別添の冊子をご覧ください。

目次は飛ばしまして、まず1ページには調査の概要、調査学校数・児童生徒数、そして体力テスト種目と体力要素について記載しております。なお、この調査は小学校5年生及び中学校2年生の男女が対象となっております。

次に2ページをご覧ください。全国との比較になります。グラフ右端にございますT得点とは全国平均を50とした指標になります。全国との比較では、小学5年生男女、中学2年生男女ともわずかですが下回る結果となりました。項目ごとで見ますと、小学生は、反復横跳び、立ち幅跳び、20mシャトルランに課題が見られ、中学生はボール投げに課題が見られました。

右ページにまいりまして、昨年度との比較では、小学生は、T得点が上回り、項目別を見ましても、半分の項目で上回っています。しかし、中学校では、T得点も下回り、項目ごとに見ても、上回っている項目もほとんどありませんでした。

4ページは3年前との比較です。つまり現在中学2年生の小学5年生の時の結果と今回の結果を比較したものになります。3年前と比較し、多くの項目が全国平均との差が上回っています。中学校で上昇する傾向は、柏原市の特徴でもあります。

5ページは体力合計点のこの5年間の経年比較になります。体力合計点とは、8種目の体力テストの成績を1点から10点に得点化して総和したものになります。青色が全国、ねずみ色が大阪、オレンジ色が柏原市になります。小学生については、全国、大阪の得点より低い傾向にありますが、中学校は全国より低く大阪より高いという傾向が見られます。

6ページは用語解説と説明で、7ページからは小学校に関する調査の詳細になります。この後は特徴的なものに絞ってご説明します。7ページの体格集計からは、女子では全国、大阪府に比べ肥満の割合がやや高くなっています。続く8ページでは、1週間の総運動時間が男女とも、全国、大阪と比較して、まったくしない60分未満の児童の割合は少ないものの、女子では、1時間以内が高い結果となりました。次の9、10ページを見ますと、右下の総合評価から、男女ともAとBの評価が少なく、D、Eの評価が多い結果となりました。

次は児童質問紙集計になっております。赤と緑が肯定的評価の割合となります。全国、

大阪府と比較して、顕著な差が見られたところですが、13ページをご覧ください。Q7 毎日どのくらい寝ていますかの質問に対して、9時間以上寝ている子が、全国・大阪と比較して多い傾向でした。

また、Q9 体育の授業は楽しいですかに対する肯定的評価が高い傾向にありました。この後14ページ、15ページの体育の授業に関するアンケートでは、全国や府に比べて肯定的な回答が高く、柏原市の強みではないかと考えます。

18ページからは中学校になります。19ページの体格集計からは、男子は全国並みですが、女子はやせが多い傾向となりました。続く20ページの1週間の総運動時間では、男女とも、420分以上の割合が全国、大阪と比較して多くなっています。

21ページ、22ページは項目ごとの比較になりますが、右下の総合評価から、男子Aの評価が多く、女子はBの評価が多い結果となりました。23ページの生徒質問紙集計では、スポーツが好きであるや、大切と思う等の質問に対して、全国・大阪と比較し、小学生と同様、男子が肯定的な回答が多く、女子は低い傾向が見られました。

次の24、25ページでは、男子は、部活動、地域クラブの時間数が多く、女子は、部活動、それ以外の運動やスポーツの活動時間が多くなっており、その結果、26ページ、活動時間の合計は、全国・府と比べ高い傾向となっており、柏原市の特徴でもあります。同じく、26ページのQ6 朝食については、女子は毎日食べない日が多い傾向となりました。Q7 睡眠時間については、男子は小学生同様、8時間以上が多く、よく眠る傾向がありました。

27ページ、Q8については、男女とも5時間以上が全国に比べ大阪が高く、更に女子は、全国の2倍近くになっており、本市の課題でもあります。ただ、授業に関しては、小学生同様、嬉しい結果となっています。授業は楽しいといった授業に関する内容の肯定的評価が高い傾向にありました。

この後、結果については、校長会や担当者会で周知し、体育の授業で楽しさだけでなく、体力向上につながる授業を進めていくよう指導助言していきたいと思っております。説明は以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長：ご意見、ご質問等よろしいでしょうか。

西村委員：グラフの色が3ページと4ページで逆になっているので修正をお願いします。

小室課長：ありがとうございます。修正いたします。

新子教育長：他にご意見、ご質問等よろしいでしょうか。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第14号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは、議案第14号令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容については、原案どおり承認することにいたします。本日の議事案件は以上です。

(安田教育監より「第2期柏原市教育振興基本計画の後期見直しについて」、桐藤教育部長より「学校プール授業の民間活用について」それぞれ報告)

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員